



街路樹



研究調査室より 次年度に向けて



支援室より 次年度に向けて

来年度から小学校ではプログラミング教育の導入や5、6年生での外国語活動(英語)の教科化など、新たな教育活動がスタートします。研修調査室では、様々な課題を踏まえて、以下の点を視点として研修講座の見直しを図りました。

(1) 基本研修の精選と改善

- 「働き方改革」と「研修の質の向上」を図る観点から研修講座を見直す。
- 新採用教員の増加に対応するため、初任者研修を大幅に見直す。
- 指標に基づき、それぞれのライフステージに沿った研修体系を見直す。

(2) 新学習指導要領完全実施に対応する研修の充実

- 外国語活動の教科化に伴った実務的な研修の実施
- プログラム教育の実施に向けた研修
- カリキュラム・マネジメント研修の新設 等

以上の方針の下、研修体系全体を見直しました。その一例を紹介します。

【初任者研修精選の概要】

- 研修時間 150時間→135時間
- 校外研修 22日→17日～20日
- ※ 授業日の校外研修を大幅に削除しました。



【外国語に関する研修の概要】

評価と演習を中心とした研修内容とします。演習の内容は、英語が苦手な先生でも取り組める内容です。

詳しくは、令和2年度の研修の手引きや研修計画をご覧ください。また、魅力ある研修講座にするために、来年度も各大学や筑波大附属小中学校の先生方などを多数講師としてお呼びしております。ぜひ、積極的に研修に参加していただきたいと思います。



教育支援室が設置され3年目となる今年度は、指導主事が1名増員となり、

- 教育相談の充実を図る相談・支援の一本化
- 不登校・引きこもり児童生徒への対応
- 切れ目のない一貫した支援の実現

など、より一層の充実を図るべく取り組んできました。

「教育相談事業」においては、通常の相談業務に加え、自然災害時等における児童生徒の心のケアを目的に、緊急時のスクールカウンセラー派遣を行いました。

「不登校対策事業」においては、いわき海浜自然の家と連携し、チャレンジホームに通う児童生徒の活動の場を広げることができました。また、公認心理師を目指す大学院生に対する校外実習の場としてチャレンジホームを提供する取組みも行いました。

「特別支援教育に関する事業」においては、「ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業」をテーマに現職教育に取り組み始めた小学校に対して、継続的に関わり、支援する取組みを行いました。

これらの取組みは、学校や保護者、関係機関からの依頼を受け、教育支援室としてできることを実行した結果、生まれたものです。

教育支援室では、次年度も、上記三本柱の充実に向けて取り組んでいきます。何らかの困り感や支援の必要性が生じた場合には、まず、教育支援室にご相談ください。相談に応じる中で、教育支援室にできることを見い出したり、必要な関係機関とつながりなど、よりよい支援を見い出していきたいと思えます。

「まずは、相談してみよう！」そう思っただけの教育支援室を目指し、指導主事・教育相談員・適応指導教室指導員・SC・SSWがチームとなって取り組んでいきたいと思えます。

OJT (オン・ザ・ジョブ・トレーニング) の取組み紹介

職場での学びを通しての人材育成であるOJTは、教員という職種の特長から、ますます重視されていくと考えられます。OJTの充実のためには、先生方の教育課題の解決意識の醸成が必要です。センター事業の中から、OJTの充実につながるようなものをご紹介します。

OFF-JT(職場を離れての外部研修)でのインプットとOJTのバランスをとりながら、教師力upをめざすと効果的です。

学校の最大の資源は、「人」です。次年度の現職教育では、OJTを生かした研修を位置づけ、組織強化を図ってみたいかがでしうか。



研究推進研修

基本研修Ⅰでは、経験者研修Ⅱ、ミドルリーダー養成研修、経験者研修Ⅲにおいて、校外研修を還元させる「研究推進研修」を実施しております。研修者には、「演習を取り入れ、学び合う時間とする」ことを意識して取り組んでいただいています。経験者研修Ⅲでの実践例をいくつか紹介します。

- 1 地域とともにある学校づくりをめざし、郷土食体験を実施し、地域連携事業の開発と教育課程への位置づけを図った。
- 2 問題行動の未然防止と組織的な取組みの充実を図るため、児童向け及び教師向けのロールプレイを実施し、教職員間の連携を図った。
- 3 小学校教員として専門性の向上をめざし、図画工作科の実習をとおして、教材研究の重要性を共有した。
- 4 継続的に道徳の研究に取り組んできたが、経験者研修Ⅲの機会を生かして、校外研修での道徳関係の講座での学びを元に、講義や模擬授業に取り組んだ。

中核教員として、研修者の指導力向上のための研修ではありますが、校内研修の中に時間と場を確保することで、他の先生方の力量が向上することにつながります。

メンター研修

本年度より本市でも取組みを始めたメンター研修ですが、実施校では各校の実情に合わせたテーマで研修を充実させています。

- 忘れ物をした子どもへの指導
 - 保護者への対応の仕方
 - ICT機器の効果的な活用
 - 合唱コンクールに向けたクラスづくり
- 限られた時間の中で情報を共有し、課題解決への具体的な見直しをもつことができます。大量退職・大量採用時代に入っている今、若手教員の育成が、強靱な組織づくりにつながります。

OJTを支える要請訪問・出前講座

現職教育の授業研究会以外にも、次のような取組みに支援させていただいています。

- 新しい教科観、評価についての講義
 - ICTの活用、プログラミング教育
 - ケース会議
 - 経済教育CAPSプログラム(活動支援)
- 指導主事によるインプットの後に、自校の課題解決につながるよう実技演習や実践的な演習等、教員の学び合いを多くしていくことで、アウトプットする場を確保し、OJTの効果を発揮させていきたいと思います。